

日本植生史学会ニュースレター

No.38 May 10, 2016

第31回日本植生史学会大会のご案内（第1報）

第31回日本植生史学会大会（学会創立30周年記念大会）を下記の要領で開催します。※申込み方法等の詳細は8月上旬頃にご案内する予定です。一般研究発表の申込み締切は9月上旬頃になる見込みです。

（学会Webサイト（<http://hisbot.jp/>）においても随時、情報を更新いたしますので、ご確認願います。）

◆ 日時

2016年11月18日（金）午後：幹事会

11月19日（土）午前：幹事会・評議員会 午後：記念シンポジウム 奨励賞関連行事・記念祝賀会

11月20日（日）一般研究発表（口頭 / ポスター）・総会

◆ 会場：専修大学 生田キャンパス

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

（http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access/ikuta_campus.html）

◆ 主催：日本植生史学会

◆ 大会実行委員：高岡貞夫（実行委員長）・高岡貞夫・荻谷愛彦・吉田圭一郎・一木絵理・江口誠一・星野安治

◆ 記念事業実行委員：辻誠一郎（委員長）・高岡貞夫・井上 淳・佐々木由香・那須浩郎・吉田明弘・江口誠一・星野安治

◆ 日本植生史学会創立30周年記念シンポジウム 「植生史研究のこれまでとこれから」

日程：11月19日（土）13：30～18：00

趣旨説明

辻 誠一郎

パート1 13：40～15：40

話題1 花粉分析による植生史研究と今後の課題

高原 光

話題2 大型植物化石による植生史研究の成果と今後の課題

百原 新

話題3 この30年の木材遺体研究の展開と展望

能城 修一

パート2 16：00～18：00

パネルディスカッション「多様化する植生史研究」

コーディネーター・司会 鈴木三男

前半では、植生史研究のさまざまな視点から若手研究者に話題提供をいただきます。

以下の話題を予定しています。

- ・木材研究の視点から
- ・栽培植物・農耕史研究の視点から
- ・植物資源利用研究の視点から
- ・環境文化史研究の視点から
- ・環境変動史研究の視点から

このほかの話題についても検討中です。話題提供者については交渉中です。

後半では、会場のみなさんとともにこれからの植生史研究について討論する予定です。

第41回日本植生史学会談話会のご案内

第41回日本植生史学会談話会を下記の要領で開催します。

※申込は締め切らせて頂きました。

テーマ：『西中国山地の温帯林と三瓶火山活動に伴う埋没林』

内容：植生史研究では馴染みのある「西中国山地」に残存するブナ林、コウヤマキ林などの温帯林を観察するとともに、島根県中部に位置する三瓶山の火山活動によって形成された「三瓶小豆原埋没林」、「横見埋没林」を見学する。西中国山地では、島根県西部の益田市、津和野町および吉賀町の境に位置する安蔵寺山（標高1,263m）で、ブナ林やこれに混淆するスギなどを、吉賀町有飯及び九郎原では、国内でも数少なくなったコウヤマキ林（六日市コウヤマキ自然林）を観察する。三瓶山では、北斜面に広がるブナ林を観察するほか、現地保存されている「三瓶小豆原埋没林」、「横見埋没林」を見学する。

案内人：渡辺正巳（文化財調査コンサルタント）、井上雅仁（島根県立三瓶自然館サヒメル）

日時：2016年5月28日（土）～、29日（日）

参加費：25,000円程度（参加人数によって変動）

定員：先着10名まで

スケジュール：

1日目：JR津和野駅集合 7:30頃→安蔵寺山：アヅガシヤ（吉賀町・匹見町）のブナ林→（高速バス六日市合流 12:00頃→）吉賀町の六日市コウヤマキ林→赤名湿地（飯南町）：中止の場合有り→三瓶宿泊

2日目：三瓶北麓のブナ林→小豆原埋没林→横見埋没林→JR出雲駅 17:00頃→出雲空港 17:30頃→JR松江駅 18:30頃

集合時の列車

JR 07:02 益田発→07:42 津和野着（06:28 益田発→07:10 津和野着）

05:53 新山口発→07:42 津和野着

高速バス（吉賀のコウヤマキ林からの参加）

11:18 広島駅新幹線口→13:17 六日市（石見交通）

帰りの飛行機・列車

JAL 19:20 出雲発→20:40 羽田着が利用可能

JR 17:17 出雲発→岡山経由→23:45 東京着

18:35 出雲発→岡山経由→22:28 大阪着が利用可能

世話人：星野安治（奈良文化財研究所）、江口誠一（日本大学）

主催：日本植生史学会

学会ニュース

◆ 第1回優秀発表賞の審査結果

昨年11月の第30回日本植生史学会大会において、将来性の高い優れた研究発表を表彰する第1回優秀発表賞の選考が実施され、次の4件の発表（口頭2件、ポスター2件）に対して賞が授与されました。

0-1：片岡太郎・上條信彦（弘前大学北日本考古学センター）・佐々木由香（パレオ・ラボ）・鹿納晴尚・佐々木理（東北大学総合学術博物館）：X線CTによる藍胎漆器の製作技法と素材同定に関する研究

0-5：真邊 彩（鹿児島県立埋蔵文化財センター）・小畑弘己（熊本大学文学部）：九州縄文時代のサンショウ属果実とその利用について

P-3：嶋田美咲・高原 光（京都府立大）・原口 強（大阪市立大）・池原 研（産総研）・池原 実（高知大）・加 三千宣（愛媛大）・村山雅史（高知大）・竹村恵二・山田圭太郎（京都大）・山本正伸（北海道大）：別府

湾海底堆積物の花粉分析に基づく過去 7000 年間の植生変遷

P-11: 目黒まゆ美* (さいたま市遺跡調査会)・佐々木由香 (パレオ・ラボ) : 南関東地方における縄文時代のオニグルミ利用

本賞の受賞対象となった研究発表に関連する内容に基づく研究論文を、受賞してから 1 年以内に総説、原著論文、あるいは短報として会誌「植生史研究」に投稿した発表者には、その論文が受理された時点において研究奨励費 5 万円が本賞の副賞として授与されます。

◆ シニア会員制度の新設と会員種別変更のご案内

植生史学分野に長年携わり活躍されてきた会員に、定年退職後も学会活動への継続的な参画を期するため、「シニア会員」の制度を新設しました。

すでに 60 歳となり定年を迎えた方や、今年 3 月に定年を迎えた方など、常勤の職を持たない 60 歳以上の正会員の方で、シニア会員への会員種別の変更を希望される方は、本年 8 月末日までに申請書 (学会ホームページよりダウンロードできます) に必要事項を記入の上、庶務幹事宛にお送り下さい。幹事会での承認を経て、次年度 (2017 年度: 2016 年 10 月 1 日-2017 年 9 月 30 日) よりシニア会員として登録されます。登録の流れについては図をご覧ください。

シニア会員は日本植生史学会において正会員と同じ権利を持つものとし、会費は 3,000 円とします。

	2016年												2017年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
年度	2016												2017			
学会年度	2016						2017									
	← 申請 →						承認	シニア会員として登録、 以降の会費は3,000円								

<リンク>

[申請書.doc](#)

[申請書.pdf](#)

シニア会員への会員種別変更申請書の送付先

庶務幹事 鈴木 伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2 東京都埋蔵文化財センター

TEL: 042-374-8044

◆ IPC/IOPC ブラジル大会の参加学生会員等に対する補助金のお知らせ

2016 年 10 月 23 日から 28 日にかけて、14th International Palynological Congress / 10th International Organisation of Palaeobotany Conference (第 14 回国際花粉学会議・第 10 回国際古植物学会議) の合同大会の IPC/IOPC2016 がブラジルのサルバドルで開催されます。日本植生史学会では、IPC/IOPC2016 で講演を行う学生会員またはこれに準ずる会員 (研究機関などに在籍し常勤職に就いていない 40 才以下の本会会員に限る) に対し、参加費等に充てるため 1 人 5 万円を補助いたします。

補助金を希望する会員の方は、件名を「IPC/IOPC 参加費補助申請」として 2016 年 6 月 3 日 (金) までに下記項目を電子メールにて庶務幹事宛 (hbmain@hisbot.jp) までご提出ください。申請内容に基づき日本植生史学会の幹事会にて公正に検討し、助成の可否について 2016 年 6 月下旬頃までにご連絡いたします。助成が決定した場合、大会での発表を確認後、2016 年 11 月頃にご指定の振込先に送金します。

1. 氏名 2. 所属機関 (学生会員でない方は詳細な職名もご記入ください) 3. 発表題目 (英語) 4. 発表要旨 (英語) 5. 連絡先 (住所、電話番号、E-mail アドレス) 6. 振込先 (銀行名、支店名、口座番号など)
申請・問い合わせ先 庶務幹事 鈴木伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2 東京都埋蔵文化財センター
電話 042-374-8044 E-mail: hbmain@hisbot.jp

◆ 第 8 回世界考古学会議 (WAC-8) 京都大会の参加学生会員等に対する補助金のお知らせ

2016 年 8 月 28 日から 9 月 2 日にかけて、8th World Archaeological Congress (WAC-8 第 8 回世界考古学会議) が京都で開催されます。日本植生史学会では、WAC-8 で植生史学に関連した講演を行う学生会員またはこれに準

ずる会員（研究機関などに在籍し常勤職に就いていない 40 才以下の本会会員に限る）に対し、参加費等に充てるため 1 人 5 万円を補助いたします。

補助金を希望する会員の方は、件名を「WAC-8 参加費補助申請」として 2016 年 6 月 3 日（金）までに下記項目を電子メールにて庶務幹事宛（hbmain@hisbot.jp）までご提出ください。申請内容に基づき日本植生史学会の幹事会にて公正に検討し、助成の可否について 2016 年 6 月下旬頃までにご連絡いたします。助成が決定した場合、大会での発表を確認後、2016 年 11 月頃にご指定の振込先に送金します。

1. 氏名 2. 所属機関（学生会員でない方は詳細な職名もご記入ください） 3. 発表題目（英語） 4. 発表要旨（英語） 5. 連絡先（住所、電話番号、E-mail アドレス） 6. 振込先（銀行名、支店名、口座番号など）
申請・問い合わせ先 庶務幹事 鈴木伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2 東京都埋蔵文化財センター
電話 042-374-8044 E-mail : hbmain@hisbot.jp

● 会費納入のお願い

2015 年度の会費納入にご協力下さい。

日本植生史学会会費（2010 年度より）一般会員：6,000 円・学生会員：3,000 円・団体会員：8,000 円・賛助会員：一口 20,000 円とし一口以上とする。会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等があった方は、以下の日本植生史学会事務局へのご連絡下さい。

事務局：

- 連絡・問合せ 庶務幹事 鈴木伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2 東京都埋蔵文化財センター
TEL : 042-374-8044 庶務 : hbmain@hisbot.jp 会誌投稿 : journal@hisbot.jp
- NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 井上 淳 広報・渉外 : hbnews@hisbot.jp
- 入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局
Tel : 03-5307-1175 Fax : 03-5307-1196 Mail : hisbot@univcoop.or.jp
- 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>